日刊 動労千葉

動労千葉結成10周年！

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号（動力車会館）

電話 （鉄電）千葉 2935・2936番 （公）千葉（22）7207番

8910.30 No3101

当該労働者への責任転嫁許すな!!

重大事故多発の原因は、会社の営利優先政策！

十月二四日未明から午後にかけて、JR東日本管内で三件の重大事故が発生した。

二時二八分
常磐線・磯原～大津港間で貨物列車の脱線・転覆事故。

十四時四五分
常磐線・北小金駅で異線進入。

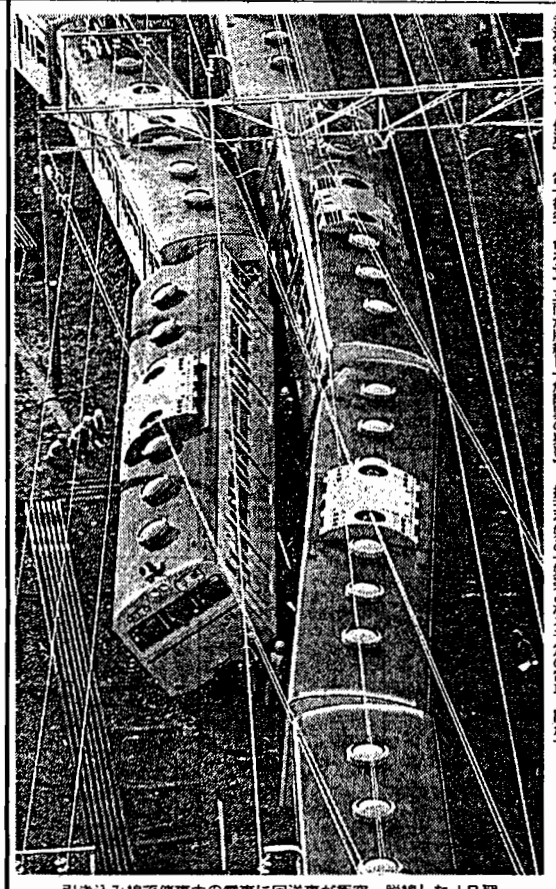
十五時二五分
総武線・習志野電車区構内での衝突・脱線事故。

1989年（平成元年）10月25日（水曜日） 毎日新聞

習志野電車区

回送同士が衝突

引き込み線で3両脱線



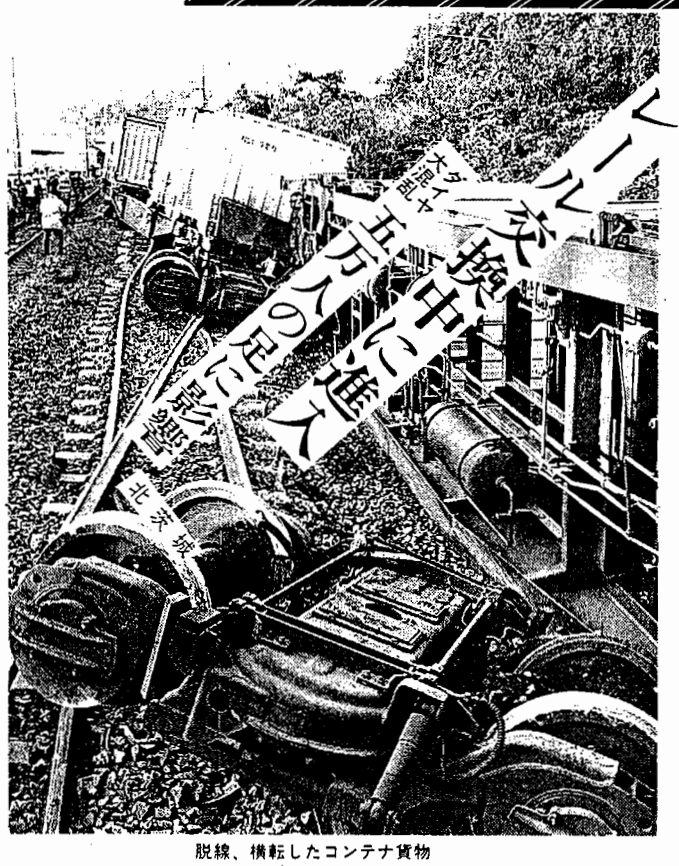
引き込み線で停車中の電車に回送車が衝突、脱線したJR習志野電車区現場＝24日午後4時20分、毎日新聞社ヘリから

同日午後三時二十六分ごろ、千葉県船橋市前原西一、JR総武線習志野電車区の引き込み線ポイント付近で、電車区から同線津田沼駅に向かう途中の津田沼発三鷹行きの普通電車（十両編成）同士が衝突、合わせて三両が脱線した。両電車の運転士にけがはなかった。

船橋東署は業務上過失往来危険罪の疑いで、捜査を始めた。

JR東日本の調べによると、午後三時三十二分津田沼始発となる予定の電車＝門倉

JR常磐線 貨物列車が脱線、横転



脱線、横転したコンテナ貨物

●開始された「タルミ」キャンペーン

会社当局は、この事故に対して、「気の緩みとしかいいようがない」、「常識外」などとマスコミに吹ちょうし、デマキャンペーンを開始した。またしても「当該労働者へ全責任をおしつけて解決」しようとしているのだ。

われわれは、この会社当局の卑劣な策動を粉砕し、真の事故原因と真の事故責任を徹底的に追及し、「これ以上の人減し合理化は絶対に許さない」闘いを構築しなければならない。

●動労千葉が危惧してきた通り

動労千葉の第十六回定期大会においても、動労総連合の第四回定期大会においても、多くの代議員から、「このままでは必ず重大事故が発生する」という危惧が出され、断固たる反合・運転保安闘争を展開することが確認されている。

われわれは、この間、今日の事故多発の事態を予測し、警鐘を乱打し続けてきた。

事故は、多くの要素が複合して発生するものであり、当該労働者の責任を厳しく追及するだけで解決するものではない。

連続する貨物列車の脱線事故。

昨年十二月五日の中央線・東中野駅電車追突事故。

全組合員が血を流し、涙を流し、そして勝利した10年！